

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2024年12月1日 255号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

滝川哲盤・珠江ジェシカさん家庭



レダの大地に立って

レダで羽ばたく若き家庭 (2)

本紙先号に続き、柳谷君が、滝川夫妻にインタビューしました。夫の哲盤（のりやす）さんは、2015年に長期ボランティアとして初めてレダで活動しました。再びレダに赴いた2019年12月からは、養殖プロジェクトの中心的な責任を担っています。

妻の珠江ジェシカさんは、2021年4月から翌年2月までレダで奉仕活動をしました。そして今年5月27日に日本を発ち、レダで哲盤さんと新たな家庭の出発をしました。

● 滝川珠江ジェシカさん

Q 1回目にきた時と、2回目にくるときとで、レダの印象が変わった所はありますか？

A 自然が相変わらず美しい中、出会う鳥の種類が増えたように感じます。毎日のように違う種類の鳥が姿を現して囀ります。渡り鳥も多いようです。尾羽が長いもの、色鮮やかな鳥、歩き方が独特なもの、様々な特徴に魅了されます。特に南米を代表するトゥカーンやピンク

色のベニハラサギ、ハチドリのような美しさは際立っています。今となってはよく文先生の

語られた鳥のオーケストラを実感し、その音色や夫婦で生活する姿などに癒され、鳥から恵みを頂いています。

プロジェクト、事業の発展

1回目に来た時はパクーの定期的な販売が始まった記念すべき年で、レダから100キロ先のトロパンパという人口千人未満の小さな村で販売を始めていました。しかし、今は350キロ先にある人口約1万5千人のローマプラタとその近辺の街まで行って販売をしています。パクー事業は経済基盤確立のために前進し続けています。

農業プロジェクトでもアセ

ロラ、パイアヤ、綿花などが良く育ち、希望を感じられます。作物の種も以前は日本産でしたが、今はブラジルで品種改良された、この土地に合う種を播いていることで、野菜の育ちが良くなっています。私が以前レダで日本の茄子を植えた時にはよく育たなかったのですが、今年はずっと20キロ余りも収穫ができていたのでとても感動しました。

天心苑 天心苑分苑ができていました！以前は応接室だった一室が（次面につづく）



●レダの船着き場にて。7月21日



familia Takikawa

●ブラジル、ニューホープファームにて。



●一緒にレダの養殖場へ。7月21日



●ブラコ・ダス・アララスにて。



●ジャルジン市のミランダ川にて。



●アクアムンド(AQUAMUNDO)社の人々の歓迎会。皆で♡サイン。10月25日

滝川家庭（一面よりつづく）極めて神聖で清らかな空間に変わっていました。特にチャパボラ青年がよく訪れている様子が見られます。彼らが精誠を積み中で神様を実感したという話も耳にしました。天的世界を近くに感じられる日陽園になっていたことに感謝です。

Q 夫婦でレダを歩んでいて今、何を感じていますか？

A 一言で表現すると、ストレートに幸せです。こんなにも夫婦の愛は幸福感を感じられるのかと、終始驚いて生活しています。レダならではの夫婦生活としては、いつも一緒に過ごせる、多くの時間を共有できるという点です。朝昼晩ご飯と一緒に食べることで、職場と住まいが目と鼻の先なので、仕事の合間の短い休憩時間でも一緒に過ごせています。また、休みの日には釣りをしたり、料理をしたり、ピクニックをしたり、星空を眺め、溢れる自然の中でツーショットを撮ったり、2人で工夫して楽しく穏やかに過ごしています。

夫への尊敬と感謝 また、哲盤さんの仕事の一手伝う機会もあり（パクーの水揚げや加工など）その時間に彼の真剣かつ丁寧な作業に取り組む姿勢を見ることで、私もレダのためにもっとできることを探し求め、神様の為に生きたいと奮い立たされます。自分を粉にして天の願いに生きる哲盤さんにはいつも尊敬と感謝でいっぱいです。

Q これからレダで何をやっていきたいですか？

A 何事も夫婦で分かち合い、支え合いながら、どんな境遇でも乗り越えていきたいです。乗り越えることを通してこれからレダに移住する家庭が安心して過ごせる家庭的な模範、コミュニティを築いていきたいです。

二人の心の軸であり、目指している姿は、提唱者、文先生ご夫妻のような夫婦になることです。文夫人がいつも文先生を支え、内外共に助け合っているように、私も表に出ても出なくても文夫人のように天を愛し夫を愛し子女を愛し隣人を愛して自分を犠牲にできる、真の愛の姿勢で、（次面につづく）



●アセロラ収穫祭。渇水路が成功して大豊作に。10月17日



●アクアムンドからの来訪者とともに釣りに出発。10月27日



●ニーム軟膏作りに心血を注ぐ北中氏。



●ディアナ村の創立119年記念祭にて。10月13日



●ピンタードを釣り上げた山崎氏。



●チバトの花。動画にはハチドリも。10月28日



●バナナアイスを作るY君。



●創立記念日を祝うディアナ村の人々と。10月13日

（前面よりつづく）家庭生活を営んでいきたいです。また、パラグアイの人々に対しては、レダに行きたい、移住したいと思ってもらえるような働きかけをしたいです。

青年メンバーで、ここには娯楽がないから長く住めないという声も聞かれます。私自身も、先回レダに初めて来たときには、7、9ヶ月ほど経った頃、休日に行きたくて、都会が恋しいという気持ちを抱きました。

文先生「ご夫妻から託された、農場を中心とした観光地を創るといいう願いをこれから実現するためにも、ホテルの設営や観光的なアクティビティ、娯楽を取り入れることは必要だと考えています。」

そのため、カフェを設営することや、レダの自然を活かしたモノづくり体験など、家族や観光客が楽しめる空間を築き、観光ビジネスとしても活かしていきたいです。

大学生の頃、パン屋、スィートポテト店でアルバイトをした経験や、ホテルで様々な仕事を務めていた期間があったので、そこで

学んだ些細なことでも思い出し、構想・理想を練り出してこうとしています。実践的な面としては、まだ些細なレベルですが、レダで採れた果物を活かしたパンやケーキ作りをして腕を磨き、飲み物として

当地人の好むマテ茶（レダの農園で育てているとのこと）をメニューに活かせるよう、今後は規模を拡大しながら農産物を育てていきたいと思っています。人が多く集まることができ天国のような雰囲気、愛の香りがする場所になるよう、日々小さなことでも前進、成長できるように努めてまいります。

●夫の哲盤さん
Q 奥様が来られる前と今とで、心情の変化は？
A 将来のことをより考えるようになった。一人でいたらどんな場所でもどんな環境でも耐えられる自信はありますが、夫婦として家庭を築いていくと考えると、そう簡単なお題ではありません。

将来はどうあるべきか、またどのような日陽園であるべきかを真剣に考えることが増えました。（四面につづく）



パラグアイ

ブラジル

パラグアイ川

レダ上空500mよりドローンで北方を望む。(11月10日)
それぞれの生き物が関わり合って生きているということ
を知らなければ、自然を主管することはできない。

私たちが自然から受け取っているものをしっかりと理解し、そのシステムを壊さないよう
に開発を進めることが、自然との共生共栄共義
であると思えます。
(山崎茂章)

レダの電気屋さん

第17回



自然との共生共栄共義

レダは神様が創造された自然がそのまま残されている地と言われています。この自然は全てこのまま残すべきでしょうか？

でもそうすると、発電機を置くこともできないので、私たちはここに住むことができません。では、自分たちが住みたいように木を切り、川をせき止め、好きなだけ住宅を作り、浄水場を作り、発電所を作り、焼却場を作れば良いでしょうか？

そうすると自然が失われ、地球レベルでは人間が住みにくい場所になりつつあるというのは、すでに皆さんご理解の通りです。

では、どうすれば良いのでしょうか？ 神様は、人間を創造するためにこの宇宙を創造されました。もちろん、地球も人間の為に創造されました。神様は無駄なことをされないとすると、宇宙も自然も人間にとって必要不可欠な存在だと理解できます。

ですので、

滝川家庭(三面よりつづく)

独身では気づかなかったことに夫婦で生活を始めて気づくようになったのです。

日陽園の生活といえば、これまで個人が集まった共同生活に近いものでした。そこに私たちが川久保家庭との2家庭が加わるようになったのですが、その生活に多少なりともギャップを感じているのも事実です。

私たちは理想郷、理想社会を日陽園に実現させたいと日々取り組んでいます。そのためにどうすればもっと家庭が定着できるのか、日陽園の将来を担う子供たちをどう育てていくのかをもっと考えていく必要があると思う

ています。まずは、将来の基盤を造るためにも日陽園の経済基盤を作ることには今

尽力していきたいと思っています。色々ありますが、ジェシカさんとどんな困難も一緒に乗り越えて、この記事を読んでくださっている皆さんに、日陽園で夫婦で暮らしたいと思ってもらえるような幸せな家庭を築いていきたいです。
(インタビュはここまで)

滝川夫妻、ありがとうございます。いました。レダで家庭を持つて歩む中で色々と考えてきたものがあると感じました。川久保家庭と共に、これからレダをどのように創り上げていくか、楽しみですね。(柳谷)



LINE公式アカウント

レダの日常・日本の非日常

レダのことをもっと知りたいあなたに！

レダプロジェクト LINE公式アカウント「レダの日常・日本の非日常」への友だち追加をお奨めします。

- レダ現地の様子、●現地プログラムの予定、●イベントの告知、などが、素早く配信されます。レダに滞在していなくても参加できるプログラムやイベントもたくさんあります。

最近の配信：◆チャコ地域の青少年スポーツ大会(皆様から支援された服と太鼓あり)の報告。◆レダプロジェクト長期インターンシップ チャパボラ募集



友だち追加はこちらから！

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

e-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

パンフレット: 当会の紹介と入会申込書

<https://asd-nsa.com/sk/>

パンタナール通信を 直接お届けします

パンタナール通信



パンタナール通信は当会の会報です。会員の皆様には毎月郵送でお届けしています。南米レダの活動現場から来る、その生の姿をご覧ください。入会申込書は左下のURL、右のQRコードから。



レダのショート動画

1. ディアナへ贈る食肉...2024年10月12日
2. ディアナ村のシャーマン.....同10月13日
3. パラグアイ川上空より.....同10月27日
4. パークのミンチでつくね.....同11月3日

